

新山協ニュース

会 長 藤井 信
 新潟県山岳協会
 長岡市学校町3-11-7
 TEL 0258-32-4835

事務局 杉本 敏
 長岡市大積町2-乙735甲
 TEL 0258-47-0368

編集者 遠藤家之進正和
 上越市本城5-4-102
 TEL 0255-26-9986

「至仏山」

98中高年登山教室実施報告②

中高年登山委員会

坂井 厚

行動概要

第1日 7月4日(土) 晴

受付・集合共に新潟市営陸上競技場前、ほぼ予定時間に出発。

車内では車長が登山事故防止のためのこの登山教室の意義、一般的なツアーではないこと、各山岳会優れたリーダーを当て事故の無い有意義な教室としたい旨述べ、リーダーの自己紹介がなされた。更に幾つかの事故事例を述べた。

開校式

委員長から年一回だが県及び新潟市の各機関の後援を得て、登山教室を開催して8年目になったこと。登山事故の内容をみると殆ど未組織の方が多く、それも中高年であること。遭難事故防止・生涯学習の一環として行うもので一般的なツアーでないこと、予想以上の多数の参加者です事故なく進ませたいと述べた。

五十嵐県山岳協会名誉会長からは、こういう行事を毎年行うことは大変であるが大事であること、事故がなくてあたりまえなので楽しい山登りのために学んで欲しいと挨拶があった。このあとリーダーなど役員の自己紹介がなされた。

講演として協会平田副会長より「遭難事故」についての話。飯豊連峰北端の山麓に住まいしているが、事故がおこるのはそれなりの理由がある。事故例をみて登山の動機を揃めてトレーニングなど山歩きのおりおりを活かし、高齢化にあって楽しい安全な登山に心がけてもらいたいと述べた。「至仏山の高山植物」と題して植物に造詣の深い加藤自然公園指導員から、国字の当字から説き起こしてその妙を語り、尾瀬特有の植物・高山植物など蘊蓄を傾けて述べた。小休後、加藤日体協公認山岳スポーツ指導員から山行の際のシャツ等の衣類・歩行の

仕方・杖利用の注意など、これもまた経験と研究のあらましを述べた。

読図は各班毎に輪になってリーダーを中心に登山に使用する2万5千分の1地形図や市販の地図を使い、リーダー持参配布の資料を使って地図を読む座学を行う。地図をみるのも初めての方も非常に有効であった。今まで登山教室に欠けていたものである。

時間を大幅に延長したがまだまだ不足であった。夕食後も各班特色ある座学がなされた。

第2日 7月5日(日) 朝雨のち晴

窓外の山の傾斜には黒雲が重く垂れこめ時おり雨が降る。宿舎10分早の出発、戸倉で大峠から中型バスに乗換え鳩待峠下車。復路のここまでは各班の自主性を持った行動を採



班毎に地図の読み方を学ぶ

ることにしてある。霧雨のなか先導はすぐ出発。登り口には2、3人が登山者の聞き取り調査をしている。今年になって多数の人達が山に向かうのは初めてと眩き、少し先には自動数読み機がある。鳩待峠の標高は1,615m。

長は全体の中間の位置するようにした。一時雨足が強かったがまもなく止み、次第に明るさが増してきた。花の有る無しに拘わらず先頭に加藤講師が、黄色の紙テープに植物名を記し路肩に付して行く。

この登山教室参加者以外の一一般の人達が大変感心している。最後の収容班がこのテープを回収して行くことになる。ヨツバムグラ・ヒオウギアヤメ等順次登るに従い変化してくる。ルリクワガタ・ウスユキソウ・シラネニンジンなど。

参加者は時折の休憩に地図を出して現地の照合やリーダーに質問などをしてしている。狭いオヤマ沢の水場では一般者と混合しがち、手前でまた、少し先でと各班それぞれである。木道はおヤマ沢田代、青空も漸次拡がり色豊かな人達の連なりがある。小至仏山の登りに西側から東側へ移る所は

喉の様に狭く渋滞する。続く岩稜でちらほらと逆コースの人達とのすれ違いにも同じような現象が起きる。

所々に見受けられた環境保護の工事に、入山者過剰に伴う裸地化現象、その復旧工事、入山者の平均化と美しい自然に対する利用と抑制に難しさを感じてくる。

多数の参加者があちらこちらと屯している円頂の一角には、前方の狭い山頂の混雑を避けて早めの小昼休憩をとる班が二三ある。

山頂は賑やか。逆コースの、また、追越してきた一般の登山者に多数の私達のパーティ。ゆつくりと展望を楽しみながらの休憩もままならない有様で、殆どの班が5・6分から15分程度の時間、二つの班の集合写真で山頂を後にする。

尾瀬ヶ原を眼下にして燧ヶ岳が前方に聳えている。クマモジャコウソウ・ミヤマタヌキランに名を付してある。なかなかの急坂に続く階段の下りは景色を眺める心の余裕が少ない。運動不足の参加者は足の痛みが出てくるのではないだろうか。この階段を利用して休憩の班もあるが登って

くる一般者も多く、端によつての食事は班内のコミュニケーションにいきさかの不都合であるリーダーの気配りは大きい。或る班では味噌汁提供で山行きでの食糧のあり方に言及している。雨後の澄んだ大気の中で急坂階段下りは、僅かに立ち止まって眺望を兼ねて呼吸の整正を整える。

森林帯に入ってもなく山の鼻着の無線連絡が入る。こちらも木道に歩を進めれば一般観光客が行き交い休憩に屯している山の鼻である。登山教室参加者との区別は判然としないが観察していると、他のツアー客と違い班毎に良く纏って行動していることは、昨日・今日と僅かな時間ではあるが登山教室の成果の表れであろう。

一般ツアー客と違い前後しながら復条の木道のなだらかな山道を、やや時間を気にしながら歩むリーダーの足並みとそれに続く班員が鳩待峠に向つていた。

鳩待峠、既に到着した班はマイクロバスで下へ向い、順次到着した班もストレッチ・小休止で纏り次第に下へ、遅れている一つの班は最後部に

位置している副委員長と収容班で対応。戸倉で大型バスに乗換え宿舎到着した。峠・戸倉ではいずれもバス乗車の際に、宿舎では入口脇で泥などの汚れ落とし後の利用です。

閉校式

平田副会長と委員長から遅れはありましたが事故なしの登山教室であったこと、2日間の糧を次回からの山行きに活かし、生涯スポーツとして遭難事故の無い楽しく安全な登山で高齢者は長寿社会を、ミドルは先人を見習って生きようではありませんかと結んだ。

帰途のバス車内では、参加者から各々感想を述べて貰った。読図は大変勉強になった。植物名記入が良かった。現在地確認が少なかった。また連れていって下さい。上れるか大変不安だったが自信が持てた。次回も参加したい等などでした。リーダーも大変勉強になった等、車長からも皆さんから勉強を貰っていることや事故例などを具体的に述べた。

総括

時期について、夏山初期に催したことは参加者の活かし

方を考えて大変良い。目的の山について、入山者過剰で荒廃し為に期間が限定されるので情報入手に手間取り、一度に多数の人達が利用するのに矛盾が感じられる。実施後では、リーダーの事前連絡でその際の助言が有効であり、運営時間に影響を及ぼしていると感じました。

結び

山岳遭難事故防止・安全登山・生涯スポーツとして中高年対策の一端を担い、僅かな日を当て登山教室を実施しています。直ちに効果が有るものではないが、参加者が登山に対する心構えが少しずつ良い方向に変わりつつあります。欠陥は改め良いことは取り入れてゆきたい。

何故に県外で実施するのか、班編成が大きすぎないか等批判改善点があります。規模を縮小してでもまだ暫らくは実施しなければと思えます。終わりにご協力を戴いた各山岳会、後援を戴いた新潟県・新潟市等の行政機関、各体育協会・長寿社会振興財団・公民館連合会等に厚く御礼申し上げます。

理事会報告

期日 平成11年1月17日(日)
 会場 新潟市南笹口1-1
 新潟ワシントンホテル
 議事

1、新年会の日程

開宴13時

2、後期事業計画

井出理事長より1月21日の県遭難対策協議会から3月28日常務理事会開催の事業について説明があり、了承された。

3、平成11年度の対応

①会計報告と予算・事業報告と事業計画について
 3月6日迄に事務局へ

提出

②評議員会日程と会場

日程 平成11年4月10日

(土)

会場 長岡市東泉閣

10時より同会場で理事会

③第54回国体県予選会日程と会場

日程 平成11年4月24日

(土)25日(日)

会場 糸魚川市

4、海外遠征

中国シンキョウウイグル

自治区トモルテイ峰(48

95m)登山計画について

歴史的に著名なシルクロードに近接して、加えて、未踏峰の魅力を備え、「中高年登山者」に打ってつけの山とのことです。

5、平成11年度の協会役員の選考方法について

選考委員を選出し、選考することです承

6、事業報告

事務局より10月17日の親

睦登山から12月12日の山梨

県山岳連盟創立50周年記念

式典出席までの事業報告が

あり了承

7、各地区遭難救助隊名簿の作成

救助隊のあり方も検討し、

各地区副会長が取りまとめ

評議員会まで作成することです承

8、平成12年度文部省中高年

安全登山指導者講習会中部

地区・当番県対応

会場は米山を候補地とし、

行事日程等の計画について

中高年登山委員会です承

検討することです承

9、笹川財団の補助申請

主旨に合った活動している

委員会からの申請を提出

することです承

10、分担金の納入状況報告

事務局から未納状況が報告

され、早急の納入依頼を行

うこととなった。

11、その他

①新加盟団体の紹介

ミズキ山の会

吉田山岳会

会長 堀川正路

会長 早川英夫

②事務所変更

加茂山岳会

会長 森山淳一

〒959-1135

加茂市上町2-7

佐野金治方

TEL0256-5210980

菅名山岳会

会長 熊倉久男

〒959-1186

5泉市本町4丁目

5番12号

高橋淳一方

TEL0250-4216855

③新潟日報事業社発行予定

「花が彩る 新潟の山歩

き」(仮)の執筆依頼があ

り、自然保護の内容を多

分に入れたもので協会と

して引き受ける方向で検

討することとなった。

④杉本事務局長の病氣お見

舞い

山岳遭難保険の加入を!!

誰もが遭難事故を起こそうと登っているとは思いませんが、天候の急変、体力の過信、アクシデントによる日程の遅れ等で事故に遭う場合もあります。万が一、自己脱出できず捜索隊の出動となった場合捜索費用の負担、安全登山のためにも協会加入団体の会員にあっては、本保険に加入されるようお願いいたします。

①共済のあらまし
 日本山岳協会を契約者とし、日本山岳協会傘下都道府県山岳連盟(協会)加入山岳団体の会員を被保険者とする遭難創作救助費用付団体普通傷害保険。

②加入資格
 日本山岳協会傘下都道府県山岳連盟(協会)加入山岳団体の会員

③保険期間
 4月1日より翌年4月1日まで。

※ 詳細は事務局に照会してください。

④保険金額及保険料

	一 般 共 済				ス ー パ ー 共 済			
	A	A ₁	A ₂	A ₃	B	B ₁	B ₂	B ₃
死亡・後遺障害	150万	150万	150万	150万	200万	200万	200万	200万
入院保険金日額			2000円	2000円			2000円	2000円
通院保険金日額			1000円	1000円			1000円	1000円
遭難捜索費用	150万	150万	150万	150万	200万	200万	200万	200万
個人賠償責任		1億		1億		1億		1億
保 険 料	5,580円	6,240円	10,830円	11,490円	7,440円	8,100円	12,690円	13,350円

行事案内

●氷雪技術検定会

指導員取得のための氷雪技術の検定会を開催します。

1、期日 平成11年2月20日

(土)21日(日)

2、会場 組倉山

新発田市赤谷

農村婦人の家

TEL025412812642

3、日程 2月20日10時集合

氷雪技術検定

筆記試験

指導員冬山講習会

に合流

●冬山講習会

雪崩事故捜索訓練を主に講習会を開催しますので、知識の向上、安全登山、事故対策に備えていただくよう多数の参加をお願いします。

1、期日 平成11年2月20日

(土)21日(日) 16:

2、会場 新発田市赤谷

30)

農村婦人の家

TEL025412812642

3、実技 埋設体験・捜索訓練

講習 組倉山スキー登山

4、参加費 1,500円

5、申込 95010812

新潟市豊111120

阿部信一

TEL025127311572

●山岳レスキュー講習会 冬山

遭難事故現場で必要な登山者の遭難救助技術を習得し、山岳遭難事故の救助に役立てることを目的として開催されます。

1、期日 平成11年3月6日

(土)7日(日)

2、会場 宮城県蔵王ハイッ

3、受講費 15,000円

4、申込 15018050

東京市渋谷区神南

11111 岸記

念体育館 日本山

岳協会事務局(内)

遭難対策委員会

FAX03124812395

指導者氷雪技術研修会

各都道府県の中堅指導者を中心とした研修を行い、指導者の資質の向上及び均衡を図ると共に、指導要領の研修を行う。

1、期日 平成11年3月20日

(土)22日(日)

2、会場 富士山 五合目付

近 佐藤小屋宿泊

3、参加資格 公認指導者の

資格を有し、協会

長推薦の者

4、参加費 1,000円

5、宿泊費 14,000円

6、申込締切 3月15日

希望者は早急に左記へ連絡

し詳細について確認のこと。

〒95010891

新潟市上木戸2-21-

安野正弘

TEL025127410495



平成11年度3月専門委員会行事予定

日山協・文部省登山研修所等3月行事予定

日 時	行 事 名	会 場	担 当
11. 3. 6~7	山岳レスキュー講習会	宮城県 蔵王	遭難対策
11. 3. 14	日山協理事会	東京	理事長
11. 3. 20~22	指導者氷雪技術研修会	富士山	指導技術
11. 3. 28	常務理事会		総務

日 時	行 事 名	会 場	担 当
11. 3. 6~7	山岳レスキュー講習会	宮城県 蔵王	日山協
11. 3. 14	日山協理事会	東京	日山協
11. 3. 20~22	指導者氷雪技術研修会	富士山	日山協

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —
大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

登山・アウトドアの専門店

ICI 石井スポーツ
新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)